

# まなびの森



廿日市市立吉和小・中学校 校長通信

【第4号】R3. 7.19

校長 戸崎志乃婦

## 学ぶ 説明する つながる

長いようで短い70日間の1学期が終わります。その間350～420時間もの授業があり、毎時間のめあてをしっかりとつかみ、「自分で考え」「友達と話し合い」「実行する」（そして「振り返る」）中で、児童生徒は着実に成長してきました。

本年度の研究の重点が「説明力をつける」「ICTを活用する」「振り返りを活かす」ことですので、その一部をご紹介します。

吉和小中学校で児童生徒につけたい力は①主体的に学ぶ力②説明力③人間関係形成力です。それらは、学校生活の大部分を占める授業の中で主に培われます。70日間の授業の中でどのくらいその成果があったか、個人懇談会でしっかりとお話ししたいと思います。（気がかりなことがあれば、何なりと相談してください。）

2学期が始まったら、再びクラスのみんなでしっかりと話し合い、支え合いながら、授業の中で、生活の中で、次のステップに向かって取組を継続します。2学期も引き続きよろしくお祈りします。

### 【説明力を高める／児童生徒の振り返りを活かす授業】

- ◎教科書の絵と数図ブロックを対応させ（ブロック同士）握手したら、動かす（引き算）」という児童にイメージしやすい言葉と動作を確認し、ペアトークで練習もしながら、全員が相手にわかるように説明する。（小1算数）
- ◎順序を表す言葉を適切に使って、計算棒や位取り表を電子黒板に写して示しながら（書画カメラを使って）、必要なキーワードを入れて相手にわかりやすく説明する。（小2算数）
- ◎前時までの「自分の家族についてのアンケート」結果から本時の資料「お母さんの請求書」に関連付けて考える。ホワイトボードに児童それぞれの考えを示して交流し考えを深める。（小3・4道徳）
- ◎既習事項としての「チョウ」の体のつくりを想起し、身近にいる「虫」について調べ、「昆虫である」と特定するための観点について確かめ、理科のキーワードを使いながら説明する。（小3理科）
- ◎これまでの「植物の発芽」での学習を「メダカの誕生」に関連付け、共通点を見付け出したり、推理したりしながら、理科のキーワードを使いながら相手に伝わるように説明する。（小5理科）
- ◎自分達が小学校の最高学年としてよりよい学校にしていけるよう、学校生活の中から気付いたことをプレゼンやポスターで表現し、他の学年に呼びかける。（小6学活）
- ◎詩の表現技法を効果的に取り入れて詩を作り、自作の詩について説明したり表現したり、お互いの詩のよさを評価し合ったりする。（中1国語）
- ◎カレンダーの中にある「秘密」を見つけ出す発展学習で生徒の興味関心を高め、自分で見つけた規則や式について相手にわかるように説明する。（中1数学）
- ◎アイディアロボットの制作で、何のためにどういう作業が必要か、効果があるかを複数の生徒で話し合い、確認し合いながら、協働的に部品の取り付け作業を行う。（中2技術）
- ◎テークオーバーゾーンの中で、どのようにすればバトンパスがスムーズに行え、タイムが縮まるかについて、実際にパスをする場面をお互いに見合い、アドバイスをし合うことでよりよい動きを作り出す。（中2・3体育）
- ◎パフォーマンステストでALTのハース先生に音読を聞いてもらったり、ハース先生の質問に答えたりしながら、理解力や会話力を向上させる。（中3英語）

### 【ICTを活用した授業例】

- ◎金属の違いを見分けるための実験を想起し、それに関連付けながら、4つの粉末の見分け方について、chromebook（生徒一人一人に配布されたタブレット）のジャムボードの機能を活用して説明し合う。（中1理科）
- ◎自分のお勧めの店の紹介文について、教科書の型を活用しつつ、インターネットで調べた情報を組み入れながら、相手にアピールできる英作文を作り発表する。（中2英語）
- ◎新旧の吉和の地形図の相違点と年表などの資料の特徴を組み合わせ、インターネットでの情報を活用しながら、古い地図の年代を協働的に解き明かしていく。（中2社会）
- ◎「ミュージックラボ」を使うことで作曲に対する生徒の興味関心を高める。色と位置関係で音楽の要素を確認しながら作曲し、実際に演奏される曲を聴き合いながら、互いの曲の特徴をつかみ、よさをclassroom上で書き込み、共有する。（中2音楽）